

Vol.2

令和4年3月発行

#### 駅周辺HP 市Twitter





# 常陸大宮駅周辺整備だより

## 1½ JR常陸大宮新駅舎・自由通路イメージ図公開

JR東日本など関係機関と協議を重ね、常陸大宮駅の新駅舎・自由通路の基本設計が完了しました。 1820(文政3)年から現在まで続く『西塩子の回り舞台』(県指定有形民俗文化財)をモチーフとした 大きな屋根によって、東口駅舎・西口駅舎・自由通路が一体的な場として共存する、未来へつなぐ新し い駅舎です。今後も2025年度の完成に向けて整備を進めていきます。



駅舎鳥瞰図



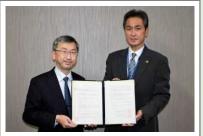
自由通路外観



自由通路内観

#### 11 東西自由通路・駅舎 12 実施設計協定の締結

基本設計に引き続き、東日本旅客鉄道株式会社と「常陸大宮駅東西自由通路・新駅舎整備に伴う実施設計協定」を締結しました。



(左) 小川水戸支社長 (右) 鈴木市長

# 10/9 公園づくりワークショップ in OTTY'S CAFE

駅西側の市有地に計画中の交流拠点について、「子育て世代にやさしいカフェ」をテーマに第2回 公園づくりワークショップを開催しました。 市内のカフェを会場に、12名(+お子さん3名)



グループワークの様子

## 12/2:11 駅西交流拠点 社会実験の実施

子育て支援や市民交流の場を目的とした公園を整備するため、駅西側の市有地に計画中の駅西交流拠 点計画地において、「にぎわい」「インクルーシブ\*」「防災機能」および夜間照明の検証をするため、社会 実験を実施しました。

昼の『インクルーシブ』(10・11日)では、インクルーシブ遊具体験や防災・防火体験など、夜の『あか り』 (18日)では、照明強度の実験や野外上映など、全日を通して子ども向けワークショップやキッチン カーの出店などを行いました。来場者数は3日間で延べ1,522名でした。



インクルーシブ遊具①

\*インクルーシブ(英:inclusive)

意味:包摂的な、包括的な 『あらゆる人が仲間はずれにされない社会』を目指す考え方のこと



インクルーシブ游具②



お菓子のリュックづくり



照明強度の実験



光のらくがき

### 官民連携のまちづくり 下町地内宅地分譲開発

株式会社ノーブルホームと「下町地内宅地分 譲開発に係る基本協定等」を締結しました。 下町地内(JT跡地)において、同社が進めて いる宅地分譲開発における市道整備事業及 び上下水道整備事業について、相互に協力・ 連携し、魅力あるまちづくりを進めます。



(左) 鈴木市長 (右)福井代表取締役

### 駅周辺の活性化を題材 に専門学生が課題制作

文化デザイナー学院の学生が「常陸大宮駅周 辺の活性化」を題材にシティプロモーション や建築設計などに取り組みました。

選抜された学生14名(12組)がプレゼンテー ションを行い、特に優秀な2つの提案に市長 賞が授与されました。



市長賞を受賞した提案の建築模型

【発行元・問合せ先】 常陸大宮市 建設部 駅周辺整備推進課